



入間モデルを全国へ

全国 ヤングケアラー 支援シンポジウム2025 from 入間 ～日本初の条例制定市の『次の一手』～



開催日時

令和7年11月26日 水

【受付】13:30～

14:00
～16:30

参加特典

入間市のヤングケアラー支援の
取組をまとめた
冊子を配布

【会場】入間市産業文化センター（入間市向陽台1-1-7）【参加費】無料

【定員】400名 【申し込み】webから 裏面QRより 【対象者】自治体職員・関係機関
ヤングケアラーを学びたい方

基調講演 ビデオメッセージ



こども家庭庁 長官
渡辺 由美子氏

昭和63年4月 厚生省入省、保険局医療介護連携政策課長、同総務課長、大臣官房会計課長、大臣官房審議官(医療保険担当)、子ども家庭局長、大臣官房長、内閣官房子ども家庭庁設立準備室長などを経て、令和5年4月より現職

パネルディスカッション

パネリスト



こども家庭庁
支援局長
齊藤 馨氏



埼玉県議会
議長
白土 幸仁氏



元ヤングケアラー
こども家庭審議会委員
南光 開斗氏

コーディネーター



入間市長
杉島 理一郎

【主催】入間市／入間市教育委員会

【後援】こども家庭庁／埼玉県

申込詳細は
裏面へ



全国ヤングケアラー 支援シンポジウム2025 from 入間



目的

入間市では、全国で初めて「ヤングケアラー支援条例」を制定した市としての取組を振り返り、今後の支援の新たな方向性を打ち出すため、「全国ヤングケアラー支援シンポジウム2025 from 入間」を開催します。本シンポジウムでは、国・自治体・教育機関・支援団体・当事者等が一堂に会し、こども家庭庁による基調講演、入間市長による政策発表、パネルディスカッションを通じて、全国の現場で支援に取り組む皆様の実践に役立つ知見や方策の共有を目指します。

Program 1 - 基調講演 -

14:10

- 「ヤングケアラー支援にかかるこども家庭庁の取組」
こども家庭庁 長官 渡辺 由美子 氏(ビデオメッセージ)
こども家庭庁支援局長 齊藤 馨 氏(講演)

Program 2 - 政策発表 -

14:30

- 「その“大丈夫”を見逃さない! 全国に贈る『次の一手』
～3階層分類と24メニューによるヤングケアラー支援～」
入間市長 杉島 理一郎

Program 3 - パネルディスカッション -

15:10

- 「入間モデルを全国へ ～ヤングケアラー支援策の新たな展開を目指して～」

こども家庭庁
支援局長

齊藤 馨 氏

平成4年4月総理府内府、内閣府政策統括官付参事官(自殺対策担当)、復興庁参事官(福島復興再生担当)、内閣府大臣官房会計課長、大臣官房審議官(沖縄政策担当)、沖縄振興局長などを経て、令和7年7月より現職。

埼玉県議会
議長

白土 幸仁 氏

令和7年3月に第129代埼玉県議会議長に就任。東第7区(春日部市)選出。埼玉県議会自由民主党議員団所属。令和2年に施行されたケアラー支援に関する全国初の条例である「埼玉県ケアラー支援条例」の制定では、提案議員の一人として尽力。

元ヤングケアラー
こども家庭審議会委員

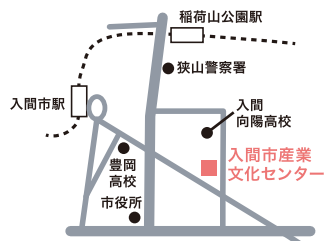
南光 開斗 氏

2004年生まれ。兵庫県宍粟市出身。法政大学現代福祉学部2年。母が難病ALSを患っており、小学5年生の頃から介護を経験。当時の経験から、難病患者家族へ社会資源や生き方の情報を届けるNPO Inforaを立ち上げる。こども家庭庁こども家庭審議会委員。

入間市長

杉島 理一郎

平成27年より埼玉県議会議員。令和2年制定の埼玉県ケアラー支援条例の提案議員の一人。令和2年11月より入間市長。令和4年7月、全国初のヤングケアラー支援条例を制定。令和7年よりこども家庭庁こども家庭審議会委員。



● 会場までのアクセス ●

【会場】入間市産業文化センター
〒358-0001 埼玉県入間市向陽台1-1-7
入間市駅(南口)下車、徒歩で約17分です。
入間市駅 南口 ロータリー先交差点
«入間市駅入口»を左折します。
ケヤキ並木を直進しますと«向陽台2丁目»
交差点手前が入間市産業文化センターです。

● 申し込み方法 ●

右記QRコードよりお申込みください。
【期限】11月24日まで。
定員(400名)になり次第締め切りです。



▶ お問い合わせ先・事務局

〒358-8511 埼玉県入間市豊岡1-16-1 入間市役所 こども支援課
電話: 04-2964-1111 内線(2355) メール: ir341000@city.iruma.lg.jp